

グループ2: 既存施設を有効活用する案

対策案(6): ダム再開発(萱瀬ダム掘削+かさ上げ)

【対策案の概要】

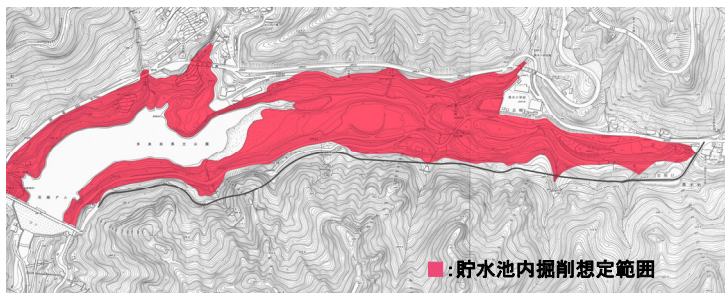
- ・萱瀬ダムの貯水池を掘削するとともに、萱瀬ダムを1.0mかさ上げすることによって必要な開発量を確保する。
- ・かさ上げでは、堤体の補強、放流ゲート改築、周辺道路の付替等を実施。
- ・補給地点までの送水は、出来る限り現況の河川を流下させ、送水管の埋設延長を最短とする。
- ・かさ上げに伴う新たな水没地の用地取得、家屋移転等を行う。

※各対策案の立案にあたっては関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。

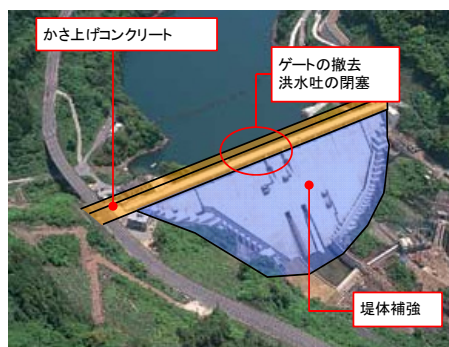
※対策箇所や数量については現時点のものであり、今後変更があり得るものである。



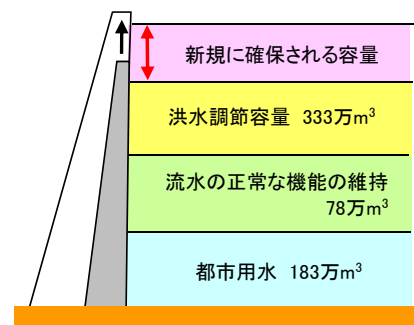
◇萱瀬ダム貯水池内掘削 概略位置図



◇かさ上げイメージ(萱瀬ダム)



◇かさ上げによる容量確保イメージ(萱瀬ダム)



【対策案】

■ダム再開発

萱瀬ダム 貯水池内掘削 226 万 m³

不特定容量 V=160 万 m³

萱瀬ダム 1.0m かさ上げ

不特定容量 V=40 万 m³

導水路 φ600mm、L=10.5km

萱瀬ダムの諸元等

堤高: 65.5m 堤頂長: 240m 供用開始: 昭和37年、再開発: 平成13年	
洪水調節	ダム下流郡川沿川の洪水被害軽減
水道	長崎市、大村市
流水の正常な機能の維持	かんがい面積217ha

グループ 2: 既存施設を有効活用する案

対策案(7): ダム再開発(萱瀬ダムかさ上げ) + ダム再開発(土師野尾ダム掘削)

【対策案の概要】

- ・萱瀬ダムを 3.5m かさ上げするとともに、土師野尾ダムの貯水池を掘削することによって必要な開発量を確保する。
- ・かさ上げでは、堤体の補強、放流ゲート改築、周辺道路の付替等を実施。
- ・補給地点までの送水は、出来る限り現況の河川を流下させ、送水管の埋設延長を最短とする。
- ・かさ上げに伴う新たな水没地の用地取得、家屋移転等を行う。

※各対策案の立案にあたっては関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。

※対策箇所や数量については現時点のものであり、今後変更があり得るものである。



【対策案】

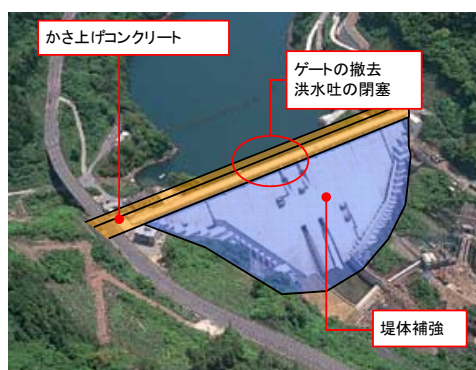
■ダム再開発

萱瀬ダム 3.5m かさ上げ
不特定容量 $V=145 \text{ 万 m}^3$
導水路 $\phi 600\text{mm}$, $L=10.5\text{km}$

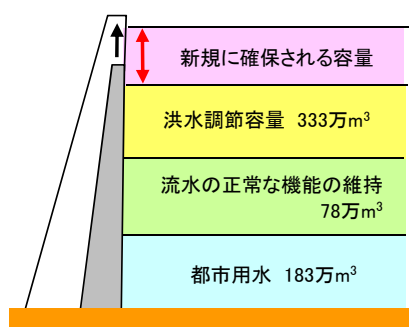
■ダム再開発(土師野尾ダム)

貯水池内掘削 59 万 m^3
不特定容量 $V=55 \text{ 万 m}^3$
導水路 $\phi 600\text{mm}$, $L=3.1\text{km}$

◇かさ上げイメージ(萱瀬ダム)



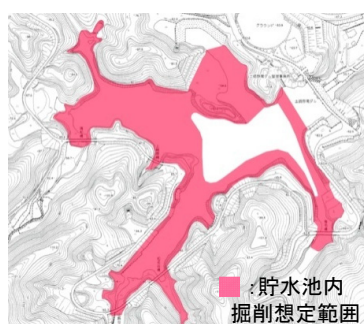
◇かさ上げによる容量確保イメージ(萱瀬ダム)



萱瀬ダムの諸元等	
堤高: 65.5m 堤頂長: 240m 供用開始: 昭和37年、再開発: 平成13年	
洪水調節	ダム下流郡川沿川の洪水被害軽減
水道	長崎市、大村市
流水の正常な機能の維持	かんがい面積217ha

土師野尾ダムの諸元等	
堤高: 31.5m 堤頂長: 145m 供用開始: 昭和61年	
洪水調節	ダム下流東大川沿川の洪水被害軽減
水道	諫早市
流水の正常な機能の維持	かんがい面積28ha

◇土師野尾ダム貯水池内掘削 概略位置図



グループ2: 既存施設を有効活用する案

対策案(8): ダム再開発(萱瀬ダムかさ上げ)+ダム再開発(小ヶ倉ダム掘削)

【対策案の概要】

- ・萱瀬ダムを1.9m かさ上げするとともに、小ヶ倉ダムの貯水池を掘削することによって必要な開発量を確保する。
- ・かさ上げでは、堤体の補強、放流ゲート改築、周辺道路の付替等を実施。
- ・補給地点までの送水は、出来る限り現況の河川を流下させ、送水管の埋設延長を最短とする。
- ・かさ上げに伴う新たな水没地の用地取得、家屋移転等を行う。

※各対策案の立案にあたっては関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。

※対策箇所や数量については現時点のものであり、今後変更があり得るものである。



【対策案】

■ダム再開発

萱瀬ダム 1.9m かさ上げ

不特定容量 $V=80$ 万 m^3

導水路 $\phi 600mm$ 、 $L=10.5km$

小ヶ倉ダム 貯水池内掘削 127 万 m^3

不特定容量 $V=120$ 万 m^3

導水路 $\phi 600mm$ 、 $L=2.2km$

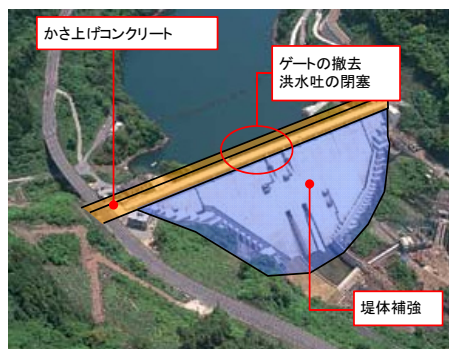
萱瀬ダムの諸元等

堤高: 65.5m	
堤頂長: 240m	
供用開始: 昭和37年、再開発: 平成13年	
洪水調節	ダム下流郡川沿川の洪水被害軽減
水道	長崎市、大村市
流水の正常な機能の維持	かんがい面積217ha

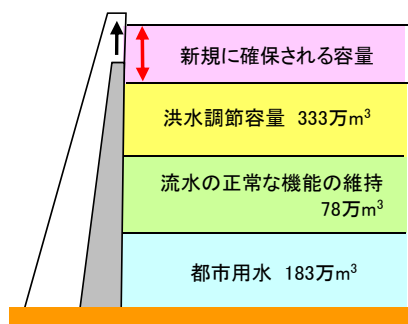
小ヶ倉ダムの諸元等

堤高: 21.1m	
堤頂長: 152.6m	
供用開始: 昭和50年	
水道	諫早市
農業用水	小ヶ倉ため池土地改良区

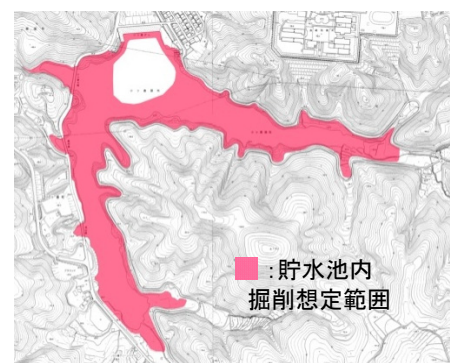
◇かさ上げイメージ(萱瀬ダム)



◇かさ上げによる容量確保イメージ(萱瀬ダム)



◇小ヶ倉ダム貯水池内掘削 概略位置図



グループ 2: 既存施設を有効活用する案

対策案(9): ダム再開発(萱瀬ダムかさ上げ) + 他用途ダム容量買い上げ(萱瀬ダムの利水容量)

【対策案の概要】

- ・萱瀬ダムを0.4m かさ上げするとともに、萱瀬ダムの利水容量を買い上げることによって必要な開発量を確保する。
- ・かさ上げでは、堤体の補強、放流ゲート改築、周辺道路の付替等を実施。
- ・補給地点までの送水は、出来る限り現況の河川を流下させ、送水管の埋設延長を最短とする。
- ・かさ上げに伴う新たな水没地の用地取得、家屋移転等を行う。
- ・利水容量の買い上げには萱瀬ダムの利水者との合意が必要となるため、利水容量の買い上げに係る費用は不確定。

※各対策案の立案にあたっては関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。

※対策箇所や数量については現時点のものであり、今後変更があり得るものである。



【対策案】

■ダム再開発

萱瀬ダム 0.4m かさ上げ

不特定容量 $V=17 \text{ 万 m}^3$

導水路 $\phi 600\text{mm}$ 、 $L=10.5\text{km}$

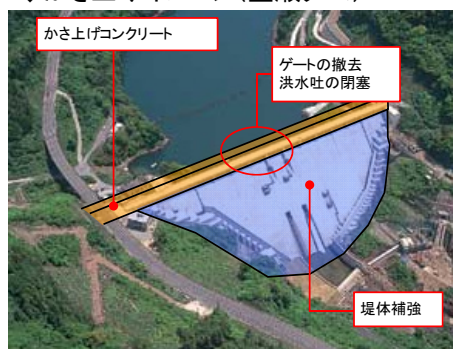
■他用途ダム容量買い上げ

萱瀬ダムの利水容量の全量 183 万 m^3
(都市用水)を買い上げる。

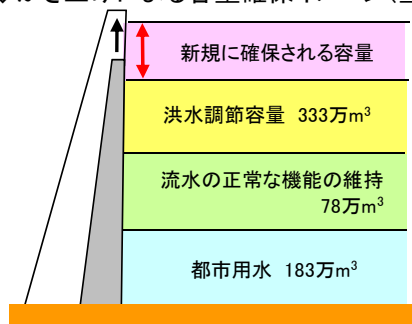
萱瀬ダムの諸元等

堤高: 65.5m 堤頂長: 240m 供用開始: 昭和37年、再開発: 平成13年	
洪水調節	ダム下流郡川沿川の洪水被害軽減
水道	長崎市、大村市
流水の正常な機能の維持	かんがい面積217ha

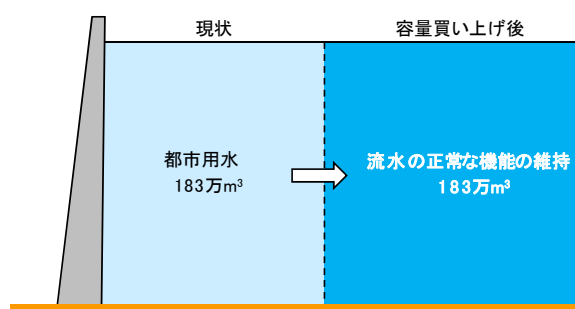
◇かさ上げイメージ(萱瀬ダム)



◇かさ上げによる容量確保イメージ(萱瀬ダム)



◇他用途ダム容量買い上げによる容量確保イメージ(萱瀬ダム利水容量)



グループ2: 既存施設を有効活用する案

対策案(10): ダム再開発(萱瀬ダムかさ上げ)

+他用途ダム容量買い上げ(土師野尾ダムの利水容量)

【対策案の概要】

- ・萱瀬ダムを3.1mかさ上げするとともに、土師野尾ダムの利水容量を買い上げることによって必要な開発量を確保する。
- ・かさ上げでは、堤体の補強、放流ゲート改築、周辺道路の付替等を実施。
- ・補給地点までの送水は、出来る限り現況の河川を流下させ、送水管の埋設延長を最短とする。
- ・かさ上げに伴う新たな水没地の用地取得、家屋移転等を行う。
- ・利水容量の買い上げには土師野尾ダムの利水者との合意が必要となるため、利水容量の買い上げに係る費用は不確定。

※各対策案の立案にあたっては関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。

※対策箇所や数量については現時点のものであり、今後変更があり得るものである。



【対策案】

■ダム再開発

萱瀬ダム 3.1m かさ上げ

不特定容量 $V=128$ 万 m^3

導水路 $\phi 600mm$, $L=10.5km$

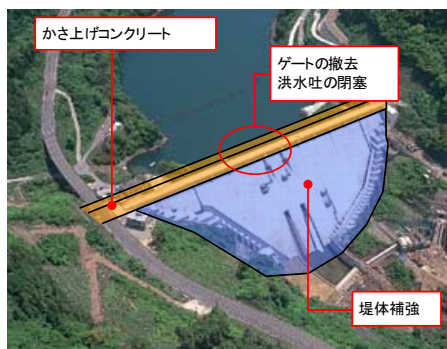
■他用途ダム容量買い上げ

土師野尾ダムの利水容量の全量 72 万 m^3

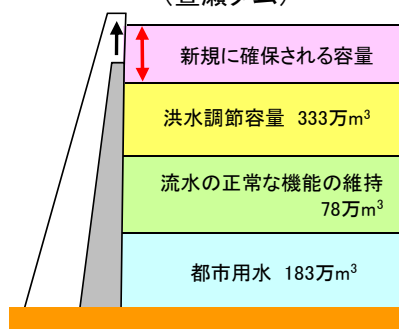
(都市用水)を買い上げる。

導水路 $\phi 600mm$, $L=3.1km$

◇かさ上げイメージ(萱瀬ダム)

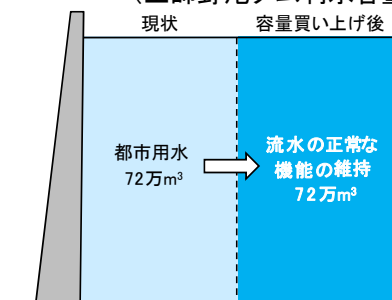


◇かさ上げによる容量確保イメージ(萱瀬ダム)

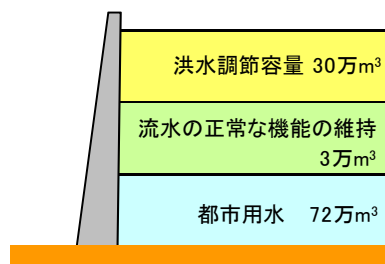


萱瀬ダムの諸元等	
堤高: 65.5m 堤頂長: 240m 供用開始: 昭和37年、再開発: 平成13年	
洪水調節	ダム下流郡川沿川の洪水被害軽減
水道	長崎市、大村市
流水の正常な機能の維持	かんがい面積217ha

◇他用途ダム容量買い上げによる容量確保イメージ(土師野尾ダム利水容量)



◇土師野尾ダムの容量配分図



土師野尾ダムの諸元等	
堤高: 31.5m 堤頂長: 145m 供用開始: 昭和61年	
洪水調節	ダム下流東大川沿川の洪水被害軽減
水道	諫早市
流水の正常な機能の維持	かんがい面積28ha

グループ 2: 既存施設を有効活用する案

対策案(11): 他用途ダム容量買い上げ(小ヶ倉ダムの利水容量)

【対策案の概要】

- ・小ヶ倉ダムの利水容量を買い上げることによって必要な開発量を確保する。
- ・補給地点までの送水は、出来る限り現況の河川を流下させ、送水管の埋設延長を最短とする。
- ・利水容量の買い上げには小ヶ倉ダムの利水者との合意が必要となるため、利水容量の買い上げに係る費用は不確定。

※各対策案の立案にあたっては関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。

※対策箇所や数量については現時点のものであり、今後変更があり得るものである。



【対策案】

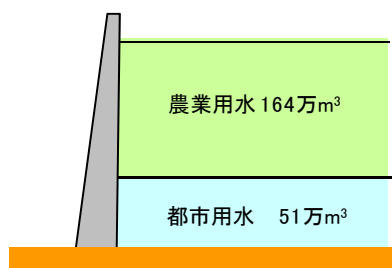
■他用途ダム容量買い上げ
小ヶ倉ダムの利水容量のうち 51 万 m^3 (都市用水)、149 万 m^3 (農業用水) を買い上げる。
導水路 $\phi 600\text{mm}$ 、 $L=2.2\text{km}$

小ヶ倉ダムの諸元等

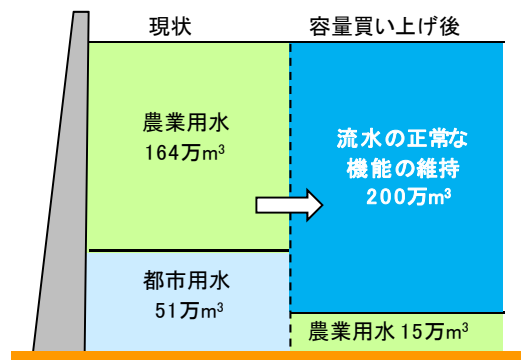
堤高: 21.1m
堤頂長: 152.6m
供用開始: 昭和50年

水道	諫早市
農業用水	小ヶ倉ため池土地改良区

◇小ヶ倉ダムの容量配分図



◇他用途ダム容量買い上げによる容量確保イメージ (小ヶ倉ダム利水容量)



グループ3:施設の新設と既存施設の有効活用を組み合わせる案

対策案(12):ダム再開発(土師野尾ダムかさ上げ)+河道外貯留施設(貯水池)

【対策案の概要】

- ・土師野尾ダムを 3.4m かさ上げするとともに、本明川中流及び上流域において河道外貯留施設(貯水池)を新設することによって必要な開発量を確保する。
- ・かさ上げでは、堤体の補強、放流ゲート改築、周辺道路の付替等を実施。
- ・補給地点までの送水は、出来る限り現況の河川を流下させ、送水管の埋設延長を最短とする。
- ・かさ上げに伴う新たな水没地の用地取得、家屋移転等を行う。
- ・河道外貯留施設は取水ポンプ、周囲堤、放流施設の整備等を実施。
- ・河道外貯留施設の用地取得を行う。
- ・河道外貯留施設の建設にあたって、地質調査や地下水調査など技術的検討が必要。

※各対策案の立案にあたっては関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。

※対策箇所や数量については現時点のものであり、今後変更があり得るものである。



【対策案】

■ダム再開発

土師野尾ダム 3.4m かさ上げ

不特定容量 $V=45 \text{ 万 m}^3$

導水路 $\phi 600\text{mm}$ 、 $L=3.1\text{km}$

■河道外貯留施設(貯水池)

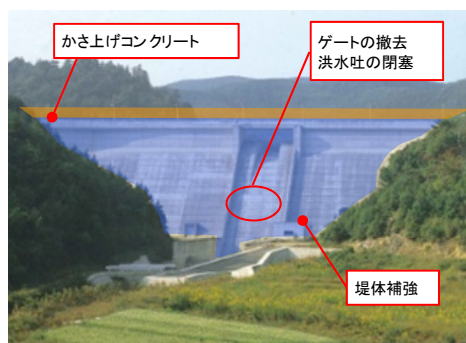
容量:125 万 m^3

面積:33ha

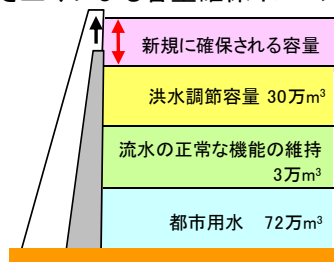
土師野尾ダムの諸元等

堤高: 31.5m 堤頂長: 145m 供用開始: 昭和61年	
洪水調節	ダム下流東大川沿川の洪水被害軽減
水道	諫早市
流水の正常な機能の維持	かんがい面積28ha

◇かさ上げイメージ(土師野尾ダム)



◇かさ上げによる容量確保イメージ(土師野尾ダム)



◇河道外貯留施設設置イメージ



グループ 3:施設の新設と既存施設の有効活用を組み合わせる案

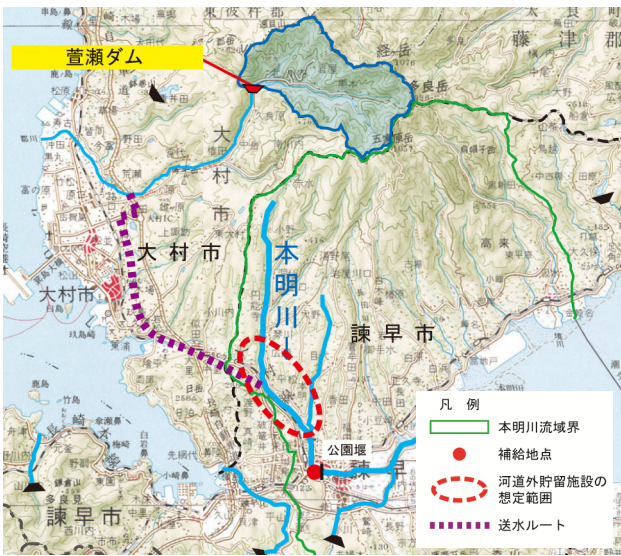
対策案(13):ダム再開発(萱瀬ダム掘削)+河道外貯留施設(貯水池)

【対策案の概要】

- ・萱瀬ダムの貯水池を掘削するとともに、本明川中流及び上流域において河道外貯留施設(貯水池)を新設することによって必要な開発量を確保する。
- ・補給地点までの送水は、出来る限り現況の河川を流下させ、送水管の埋設延長を最短とする。
- ・河道外貯留施設は取水ポンプ、周囲堤、放流施設の整備等を実施。
- ・河道外貯留施設の用地取得を行う。
- ・河道外貯留施設の建設にあたって、地質調査や地下水調査など技術的検討が必要。

※各対策案の立案にあたっては関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。

※対策箇所や数量については現時点のものであり、今後変更があり得るものである。



【対策案】

- ダム再開発(萱瀬ダム)
貯水池内掘削 226 万 m³
不特定容量 V=160 万 m³
導水路 φ600mm、L=10.5km
- 河道外貯留施設(貯水池)
容量:30 万 m³
面積:8ha

萱瀬ダムの諸元等

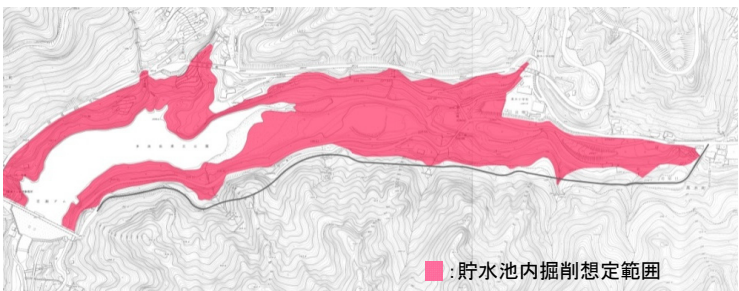
堤高:65.5m
堤頂長:240m
供用開始:昭和37年、再開発:平成13年

洪水調節	ダム下流郡川沿川の洪水被害軽減
水道	長崎市、大村市
流水の正常な機能の維持	かんがい面積217ha

◇河道外貯留施設設置イメージ



◇萱瀬ダム貯水池内掘削 概略位置図



グループ3:施設の新設と既存施設の有効活用を組み合わせる案

対策案(14):ダム再開発(土師野尾ダム掘削)+河道外貯留施設(貯水池)

【対策案の概要】

- ・土師野尾ダムの貯水池を掘削するとともに、本明川中流及び上流域において河道外貯留施設(貯水池)を新設することによって必要な開発量を確保する。
- ・補給地点までの送水は、出来る限り現況の河川を流下させ、送水管の埋設延長を最短とする。
- ・河道外貯留施設は取水ポンプ、周囲堤、放流施設の整備等を実施。
- ・河道外貯留施設の用地取得を行う。
- ・河道外貯留施設の建設にあたって、地質調査や地下水調査など技術的検討が必要。

※各対策案の立案にあたっては関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。

※対策箇所や数量については現時点のものであり、今後変更があり得るものである。



【対策案】

■ダム再開発(土師野尾ダム)

貯水池内掘削 59 万 m^3

不特定容量 $V=55$ 万 m^3

導水路 $\phi 600mm$ 、 $L=3.1km$

■河道外貯留施設(貯水池)

容量:115 万 m^3

面積:31ha

土師野尾ダムの諸元等

堤高:31.5m
堤頂長:145m
供用開始:昭和61年

洪水調節	ダム下流東大川沿川の洪水被害軽減
------	------------------

水道	諫早市
----	-----

流水の正常な機能の維持	かんがい面積28ha
-------------	------------

◇土師野尾ダム貯水池内掘削 概略位置図



◇河道外貯留施設設置イメージ



グループ3:施設の新設と既存施設の有効活用を組み合わせる案

対策案(15):ダム再開発(小ヶ倉ダム掘削)+河道外貯留施設(貯水池)

【対策案の概要】

- ・小ヶ倉ダムの貯水池を掘削するとともに、本明川中流及び上流域において河道外貯留施設(貯水池)を新設することによって必要な開発量を確保する。
- ・補給地点までの送水は、河川流下を基本とし、送水管の埋設延長を最短とする。
- ・河道外貯留施設は取水ポンプ、周囲堤、放流施設の整備等を実施。
- ・河道外貯留施設の用地取得を行う。
- ・河道外貯留施設の建設にあたって、地質調査や地下水調査など技術的検討が必要。

※各対策案の立案にあたっては関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。

※対策箇所や数量については現時点のものであり、今後変更があり得るものである。



【対策案】

■ダム再開発(小ヶ倉ダム)

貯水池内掘削 127 万 m^3

不特定容量 $V=120$ 万 m^3

導水路 $\phi 600mm$ 、 $L=2.2km$

■河道外貯留施設(貯水池)

容量:50 万 m^3

面積:12ha

小ヶ倉ダムの諸元等

堤高:21.1m
堤頂長:152.6m
供用開始:昭和50年

水道	諫早市
農業用水	小ヶ倉ため池土地改良区

◇小ヶ倉ダム貯水池内掘削 概略位置図



◇河道外貯留施設設置イメージ



グループ3:施設の新設と既存施設の有効活用を組み合わせる案

対策案(16):他用途ダム容量買い上げ(萱瀬ダムの利水容量)+河道外貯留施設(貯水池)

【対策案の概要】

- ・萱瀬ダムの利水容量を買い上げるとともに、本明川中流及び上流域において河道外貯留施設(貯水池)を新設することによって必要な開発量を確保する。
- ・補給地点までの送水は、出来る限り現況の河川を流下させ、送水管の埋設延長を最短とする。
- ・利水容量の買い上げには萱瀬ダムの利水者との合意が必要となるため、利水容量の買い上げに係る費用は不確定。
- ・河道外貯留施設は取水ポンプ、周囲堤、放流施設の整備等を実施。
- ・河道外貯留施設の用地取得を行う。
- ・河道外貯留施設の建設にあたって、地質調査や地下水調査など技術的検討が必要。

※各対策案の立案にあたっては関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。

※対策箇所や数量については現時点のものであり、今後変更があり得るものである。



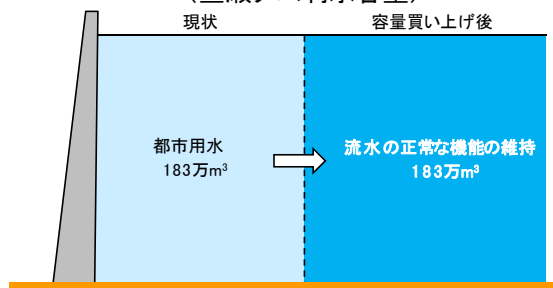
【対策案】

- 他用途ダム容量買い上げ
萱瀬ダムの利水容量の全量 183 万 m^3 (都市用水) を買い上げる。
導水路 $\phi 600\text{mm}$ 、 $L=10.5\text{km}$
- 河道外貯留施設(貯水池)
容量: 17 万 m^3
面積: 4ha

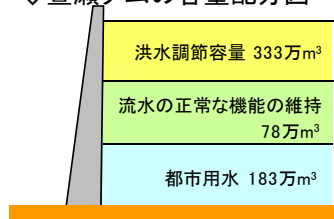
萱瀬ダムの諸元等

堤高: 65.5m 堤頂長: 240m 供用開始: 昭和37年、再開発: 平成13年	
洪水調節	ダム下流郡川沿川の洪水被害軽減
水道	長崎市、大村市
流水の正常な機能の維持	かんがい面積217ha

◇他用途ダム容量買い上げによる容量確保イメージ(萱瀬ダム利水容量)



◇萱瀬ダムの容量配分図



◇河道外貯留施設設置イメージ



グループ3:施設の新設と既存施設の有効活用を組み合わせる案

対策案(17):他用途ダム容量買い上げ(土師野尾ダムの利水容量)+河道外貯留施設(貯水池)

【対策案の概要】

- ・土師野尾ダムの利水容量を買い上げるとともに、本明川中流及び上流域において河道外貯留施設(貯水池)を新設することによって必要な開発量を確保する。
- ・補給地点までの送水は、出来る限り現況の河川を流下させ、送水管の埋設延長を最短とする。
- ・利水容量の買い上げには土師野尾ダムの利水者との合意が必要となるため、利水容量の買い上げに係る費用は不確定。
- ・河道外貯留施設は取水ポンプ、周囲堤、放流施設の整備等を実施。
- ・河道外貯留施設の用地取得を行う。
- ・河道外貯留施設の建設にあたって、地質調査や地下水調査など技術的検討が必要。

※各対策案の立案にあたっては関係機関や地権者等の関係者との事前協議や調整は行っていない。

※対策箇所や数量については現時点のものであり、今後変更があり得るものである。



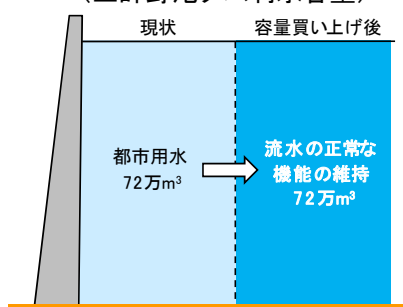
【対策案】

- 他用途ダム容量買い上げ
土師野尾ダムの利水容量の全量
72 万 m^3 (都市用水) を買い上げる。
導水路 $\phi 600mm$ 、 $L=3.1km$
- 河道外貯留施設(貯水池)
容量: 98 万 m^3
面積: 25ha

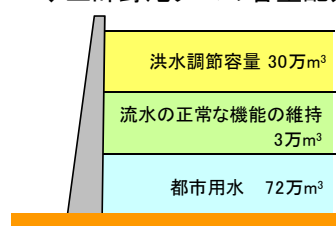
土師野尾ダムの諸元等

堤高: 31.5m 堤頂長: 145m 供用開始: 昭和61年	
洪水調節	ダム下流東大川沿川の洪水被害軽減
水道	諫早市
流水の正常な機能の維持	かんがい面積28ha

◇他用途ダム容量買い上げによる容量確保イメージ (土師野尾ダム利水容量)



◇土師野尾ダムの容量配分図



◇河道外貯留施設設置イメージ



頓田貯水池 (福岡県北九州市)